

別添1

2016年（平成28年）3月18日

逗子市教育委員会教育長 様

逗子市立久木小学校長

平成27年度 学校評価（自己評価） 年度末評価について（報告）

次のとおり 平成27年度 学校評価（自己評価）における年度末評価をご報告します。

三つの柱	項目	学校が重点的に取り組んだ項目の主な成果	学校が重点的に取り組んだ項目の主な課題と次年度改善策
I 子どもたちの 学力向上	1 個に応じた指導 の充実	<p>・「協同的・創造的な学び合いを目指して ～よりよい人間関係の中で考える楽しさ・わかる喜びを味わえる算数の授業のあり方～」を研究テーマとして研究研修に努めた。全学級が研究授業を行い、ブロックごとの研究会議や全体の研究協議を通じて指導の工夫改善に努めた。研究協議では活発な意見が交わされ、講師の指導助言も仰ぎ、全員が前向きに取り組んだ。</p> <p>・教育相談コーディネーターを中心に校内支援体制の充実を図り、課題を抱えた児童には定期的に、突発的な事案については教職員で情報共有を図り、必要に応じてケース会議を開いて適宜対応を図った。また、支援教育推進巡回指導員・スクールカウンセラーや外部機関とも連携を図り、具体的な支援や保護者の相談などにも対応した。</p>	<p>・次年度以降2年間の研究指定を受けるので、今年度の取り組みを踏まえて、研究に組み込み、教職員の取り組みだけでなく、児童の具体的な変容などについても発表できるように真摯に取り組んで行く。</p> <p>・課題を抱えた児童への対応等について、専門家や外部の機関との連携を進め、学年・学校全体として組織的に対応にあたるよう進めていく。</p> <p>・教員の「授業・学級経営に関する自己チェック」を指導の改善に役立てていく。</p>

	2 健やかな心と身体 の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・米作り、豆腐作り、味噌作り、昔遊びなどの体験活動を通して、自然への働きかけ、自然の恵みのありがたさを実感し、地域の方々との交流を通して豊かな心の育成を図った。 ・校庭の芝生化については、学校、地域、保護者が協力して取り組んだ。芝生の校庭への定着を図り、児童の生活環境を整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業の取り組みが教育課程の中に位置づけられ、久木小の特色ある活動として続けていけるよう、地域や保護者との連携を図っていく。 ・校庭の芝生化については、できる範囲で工夫改善を図り、教育委員会とも相談しながら、環境を整えていきたい。
II 課題に迅速 に対応する 学校づくり	1 多様な教育課題 への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の安全確保について「校庭の遊具」に関わったので、遊具の使用についての児童への指導徹底や遊具自体の改善を行った。 ・課題を抱える児童への対応については、教育相談コーディネーターを中心に、学校として組織的に対応するよう心掛けた。 また、経験の少ない教員への様々な指導については、校内の教育指導教員や研究所からの派遣の指導教員を活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「校庭の遊具」の改善が図られたので、更に学校として改善が図れることはないか検討していきたい。また、児童への遊具使用についての指導は継続していく。 ・課題を抱える児童や支援が必要な児童への支援は、教育相談コーディネーターや外部の専門家との連携により組織的に続けていく必要がある。また、教員側の指導力の向上についても、学校全体で取り組んでいきたい。
	2 地域に開かれた 学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・久木小学校学校支援本部事業の様々な取り組みについて、地域や保護者の理解と協力が進んでいるので継続していく。 ・学校の取り組みをお便りやホームページを活用して、発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な取り組みについて、学校だより等でお知らせしてきたが、ボランティアの募集や取り組みの結果についてもさらに広く周知していく。 ・児童が地域の行事等に参加して活躍しているので、それらの様子を認識し、多面的に児童を捉えるようにする。 ・ホームページ改修に伴い、学校からの情報発信について次年度検討する。

<p>Ⅲ 教員の指導 力向上</p>	<p>1 教員研修・研究の 充実</p>	<p>・「学校づくりアンケート」を見 童、保護者に行うとともに「授 業、学級経営に関する自己チェ ック」を教員で行った。その結果 を教員の指導力の向上に役立て ている。</p>	<p>・保護者の意識と教員の自己 チェックとを比較してみる ことで、保護者のニーズと教 員の努力点を一致させ、信頼 される学校づくりを進めて 行きたい。</p>
----------------------------	------------------------------	---	---

2016年（平成28年）3月18日

逗子市教育委員会教育長 様

逗子市立久木小学校長

平成27年度 「学校関係者評価」年度末評価について（報告）

次のとおり 平成27年度 学校関係者評価における年度末評価をご報告します。

三つの柱	項目	学校が重点的に取り組んだ項目の目標達成状況及び学校の取り組みの適切さ	改善方策についての意見
I 子どもたちの 学力向上	1 個に応じた指導 の充実	・授業等を見て、クラスが落ち着いており、支援が必要な児童への対応等が組織的に行われているのがわかる。支援ニーズは児童によって異なるので、学校として対応するのも大変であろうが、力をあわせて取り組んでいる。	・支援ニーズは多岐にわたるので人的資源はいくらあっても足りないと思うが、専門家や専門的な機関と連携を取りながら進めていくとよい。
	2 健やかな心と身体 の育成	・体験活動を通して児童は様々な経験をしている。昔遊びや稲作りなど、地域の方々との交流も多いので、このまま地域とのかかわりを持ち続けることが必要。	・充実した活動が実施されていることはよくわかる。それぞれの学年で体験することを6年間の視点で系統的・計画的におこなうことを心掛けるべき。
II 課題に迅速 に対応する 学校づくり	1 多様な教育課題 への対応	・学校づくりアンケートから、保護者が今の久木小学校に概ね満足していることがわかる。 多様な教育的課題の中の保護者のニーズについては、学校として応えるべきものと担任レベルでの対応ですむものがあるので、対応の段階を考えていくべき。	・アンケート等をとった際に出てくる要望や意見については学校として回答するのか、担任として話をすすむのか見極めて対応すべきである。意見・要望は大多数の方がそう思っているならば学校で対応した方がよい。
	2 地域に開かれた 学校づくり	・久木小としての特色ある取り組みが行われているので、もっと保護者、地域にPRした方がよい。	・素晴らしい取り組みをしているので保護者や地域にもっと知らせた方がよい。更に地域や保護者の支援がいただける。

<p>Ⅲ 教員の指導 力向上</p>	<p>1 教員研修・研究の 充実</p>	<p>・校内研究にも取り組み、学校づくりアンケートの児童の回答にも「学校が楽しい」「授業がわかる」に多く○がついている。教員の自己チェックも実施しているので、それらをもとに指導の工夫改善をさらに進めていくべき。</p>	<p>・学校評価に関するアンケートは概ね良好である。教員自身の振り返りもできているので、これらを踏まえて次年度、取り組んで行ってほしい。</p>
----------------------------	------------------------------	---	--